

INFO-HIRO-21

第424号 2017年5月1日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

弘前大学 国際交流月間行事のお知らせ

弘前大学国際連携本部では、5月を国際交流月間と称し、留学や国際理解に関するイベントを下記のとおり実施いたします。

今年度は、例年実施している留学説明会の他、学生同士の国際交流の場として、『International Night』を開催いたします。

事前申し込みは不要です。学生の皆さま、お友達をお誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください！

○International Night～本学の学生による自国の文化紹介～

【日時】 平成29年 5月12日(金) 18時00分～

【会場】 弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール
※自国の好きなお菓子を持ってきてください！

○英語圏留学説明会

【日時】 平成29年 5月17日(水) 17時40分～

【会場】 総合教育棟 201講義室

○アジア・欧州圏留学説明会

【日時】 平成29年 5月18日(木) 17時40分～

【会場】 総合教育棟 206講義室

○HIROSAKIはやぶさカレッジ、トビタテ!留学JAPAN説明会

【日時】 平成29年 5月24日(水) 17時40分～

【会場】 総合教育棟 206講義室

【問い合わせ先】 国際連携本部 サポートオフィス 電話:0172-39-3124



弘前大学 国際交流月間(2017年5月1日～5月31日)

弘前大学 国際交流月間と称し、留学や国際理解に関するイベントを開催します。皆様の参加をお待ちしています。

☆☆スケジュール☆☆

内容	開催日	開催時間	場所
International Night ～本学の学生による 自国の文化紹介～ ※自国の好きなお菓子を持 ってきてください。	5月12日(金)	18時00分 から	弘前大学 創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
英語圏 留学説明会	5月17日(水)	17時40分 から	総合教育棟 201 講義室
アジア・欧州圏 留学説明会	5月18日(木)	17時40分 から	総合教育棟 206 講義室
HIROSAKI はやぶさカレッジ、 トビタテ!留学JAPAN 説明会	5月24日(水)	17時40分 から	総合教育棟 206 講義室



弘前大学では、世界16の国と地域、33大学と大学間交流協定を結んでいます。大学在学中に、日本では経験できないことを、海外で経験してみませんか。

問い合わせ先: 弘前大学 国際連携本部 サポートオフィス
電話 39-3124

男女共同参画トップセミナー「ダイバーシティ教育研究環境の基盤づくりとしてのポジティブ・アクションー岩手大学の実践から」の開催について

平成28年度から弘前大学は、岩手大学を代表機関とする文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」を展開しています。

この事業の一環として、ダイバーシティ推進に対する本学や関係機関の幹部職員のいっそうの意識啓発を図る目的からセミナーを開催します。

講師として、女性研究者支援や男女共同参画推進において全国的にも先進的な取組を実施され高い評価を受けている岩手大学から、理工学部長の船崎健一先生をお迎えし、岩手大学における女性教員の採用や上位職登用等のポジティブ・アクションの具体的方策・成果・課題等について、実践を踏まえてご講演をいただきます。

積極的なご参加をお待ちしております。

記

◇日 時：平成29年5月22日（月）13:15～14:45

◇会 場：弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホール

◇講 師： 船崎 健一 先生
（岩手大学 理工学部長）

◇対 象：北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議構成機関*の幹部職員
地域の教育研究機関や企業等の幹部職員 ほか

（*弘前大学、岩手大学、八戸工業高等専門学校、一関工業高等専門学校
東北農業研究センター、株式会社ミクニ）

◇定 員：100名程度

◇参加費：無料

◇申 込：5月15日（月）までに、件名を「5/22セミナー参加希望」とし、①名前、②所属、③役職、④連絡先（メールアドレスと電話番号）を添えてメールまたはファックスで事前に申し込んでください。定員に余裕がある場合は、当日参加も歓迎します。
申込時にいただいた情報は、本事業以外に使用しません。

◇主 催：弘前大学、北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議

◇申込先：弘前大学男女共同参画推進室

メールequality@hirosaki-u.ac.jp 電話0172-39-388

ファックス0172-39-3889

※参照URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/4460.html>

**弘前大学 金木農場・藤崎農場 「親子体験学習参加者募集」
～ふれ合おう、人と自然と農業に！～**

弘前大学の農場ではイネ・畜産・リンゴの研究を行っており、その研究フィールドを活用した親子体験学習を行います。

金木農場では親子が一緒になって、たくさんの自然と触れ合いながら田植えから白米までのコメ作りや羊の毛刈りを学び、藤崎農場ではリンゴの摘果（みすぐり）や収穫、昆虫採集を体験します。他にも、羊の毛を使った羊毛作品作りやもちつきの体験もあります。

いろいろな体験学習ができるチャンスですので是非ふるってご参加下さい！

- 募集対象** 先着25組（保護者1名につき子供2人までとします）
対象年齢 小学生に限ります。但し、保護者2名以上であれば小学生と共に未就学児の参加も可能です。
実施場所 弘前大学金木農場（五所川原市金木町芦野84-133）
 藤崎農場（藤崎農場（藤崎町藤崎下袋7-1）
- 実施期間** 5月27日（土）～10月28日（土）まで延べ5日間
実施時間 9時30分～15時30分（昼食休憩1時間、昼食は各自ご持参下さい。）
 ※第5回目は、午前で終了になります。
- 参加経費** 延べ5日間分全額で大人1名につき1,200円（但し、大人2名以上から1名追加につき1,000円）お子様は参加費無料となります。
- 第1回目** 5月27日（土） ・ 出会いの会 ・ 羊の毛刈り ・ 田植
 えに挑戦 ・ じゃがいもの植え付け
第2回目 6月17日（土） ・ リンゴの摘果 ・ 昆虫採集
第3回目 9月23日（土） ・ 稲刈り ・ もちつき体験 ・ じゃがいもの収穫
第4回目 10月7日（土） ・ リンゴの収穫 ・ 羊毛作品作り
第5回目 10月28日（土） ・ お米の精米 ・ 別れの会



募集対象 先着25組（保護者1名につき子供2人までとします。）
 小学生に限ります。但し、保護者2名以上であれば小学生と共に未就学児の参加も可能です。
実施場所 弘前大学金木農場（五所川原市金木町芦野84-133）
 藤崎農場（藤崎町藤崎下袋7-1）
実施期間 5月27日（土）～10月28日（土）まで延べ5日間
 9時30分～15時30分（昼食休憩1時間、昼食は各自ご持参下さい。）
 ※第5回目は、午前で終了になります。
参加経費 延べ5日間分全額で大人1名につき1,200円（但し、大人2名以上から1名追加につき1,000円）お子様は参加費無料となります。

第1回目 5月27日（土） 出会いの会 ・羊の毛刈り ・田植えに挑戦 ・じゃがいもの植え付け	第2回目 6月17日（土） リンゴの摘果 ・昆虫採集	第3回目 9月23日（土） 稲刈り ・もちつき体験 ・じゃがいもの収穫
第4回目 10月7日（土） リンゴの収穫 ・羊毛作品作り	第5回目 10月28日（土） お米の精米 ・別れの会	

申し込み 平成29年5月19日（金）
 問い合わせ・申し込み
 弘前大学金木農場 TEL0173-53-2029 FAX 0173-52-5137
 E-mail: jm532029@hirosaki-u.ac.jp
 （メールでのお申し込みは、氏名・年齢・連絡先を明記して下さい。）
 ●主催 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
 HPアドレス: <http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kyousei/event.html>

締め切り 平成29年5月19日（金）

問い合わせ・申し込み

弘前大学金木農場 TEL0173-53-2029 FAX 0173-52-5137

E-mail: jm532029@hirosaki-u.ac.jp

（メールでのお申し込みは、氏名・年齢・連絡先を明記して下さい。）

●主催

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター

HPアドレス: <http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kyousei/event.html>

地質の日 in弘前2017

「地質の日」（5月10日）にちなみ、地質学に関する講演会を開催します。今年は「弘前大学における大学院生の地質研究」と銘打って、理工学研究科で学んでいる大学院生が自分達の研究内容についてわかりやすく講演します。皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 5月14日（日）13:30～15:00

会場: 弘前大学理工学部1号館2番講義室

演題: 以下の講演を予定しています。

「有孔虫からみた下北半島南東部、尾駱沼における近過去の環境の変遷」

…大友 陽（弘前大学大学院理工学研究科）

「ミクロの目で見る縄文土器—土器材料としてのテフラ（火山灰）—」

…近藤 美左紀（弘前大学大学院理工学研究科）

「青森県むつ市南部に分布する鮮新～更新統産有孔虫化石群集」

…田村 岳臣（弘前大学大学院理工学研究科）

対象: おおむね高校生以上

参加料: 無料

申込方法: 申込不要

【問合せ先】

理工学研究科 根本 直樹 tel: 39-3618, e-mail: nemoto@hirosaki-u.ac.jp

無料シャトルバス 運行時刻表

弘大正門奥 発 → 藤崎農場 着	藤崎農場 発 → 弘大正門奥 着
9時15分 → 9時45分	11時00分 → 11時30分
13時00分 → 13時30分	14時45分 → 15時15分

問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場
TEL：0172-75-3026, FAX：0172-75-5646

(第2回) 最先端医工学連携セミナー
～誰もが人間的尊厳を保ちつつすこやかに快適な生活をおくることのできる
社会の実現～

先進がん治療のためのBNCT（ホウ素中性子捕獲治療）治療法について一般の方々にもわかりやすく、その驚異的な治療効果と仕組みや導入効果（経済効果等）ならびに青森県の取り組み（青森県量子科学センター（H29年10月OPEN））について余すところなくその魅力を解説いたします。是非講演に足を運んでみてください。きっと新しい発見に出会えます。

【日 時】平成29年5月23日（火）13：00～16：00

【会 場】弘前大学医学部メディカルコミュニケーションセンター

【内 容】

第1部（13：00～14：00）

『「先進がん治療のための」ひろさきBNCT元年』

一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 南東北BNCT研究センター
センター長 高井 良尋（弘前大学名誉教授）

第2部（14：00～14：45）

『青森県量子科学センターの概要』

青森県エネルギー総合対策局 量子科学センター開設準備室
室長 一戸 浩二

第3部（15：00～16：00）

『最新がん治療研究に関するパネル展示 企業展示』

【協賛】日本学術振興会回析構造生物第169委員会

【問合せ先】弘前大学大学院理工学研究科

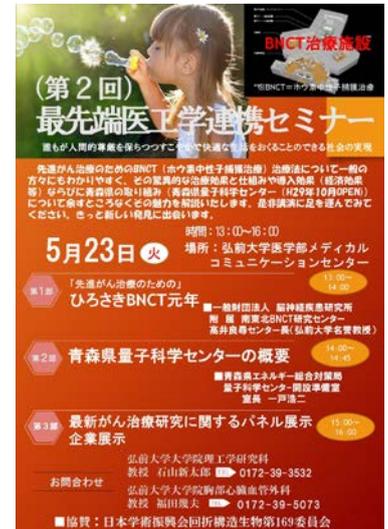
教授 石山 新太郎

TEL：0172-39-3532

弘前大学大学院胸部心臓血管外科

教授 福田 幾夫

TEL：0172-39-5073



弘前大学資料館第14回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第14回企画展「弘前大学の被ばく医療教育・研究及び福島復興への取り組み 被ばく医療・研究を体感する」を4月5日より6月2日まで開催いたします。

弘前大学は、東日本大震災以前より、被ばく医療体制の整備、被ばく医療に関わる教育・研究ならびに人材育成に取り組んできました。平成27年度には、国から原子力災害に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受け、弘前大学における被ばく医療の活動はさらに重要になっています。

弘前大学が社会や地域に貢献する上で、上述の活動は3大戦略の1つとして引き続き重点的に取り組むこととしています。弘前大学被ばく医療総合研究所のこうした取り組みの足跡とこれからの展開について資料やパネルで広く紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第14回企画展

「弘前大学の被ばく医療教育・研究及び福島復興への取り組み 被ばく医療・研究を体感する」

会 期：平成29年4月5日（水）～平成29年6月2日（金）
（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

・弘前大学被ばく医療総合研究所 山口富雄

電話：0172-39-5520 E-mail：jm5401@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学 研究イノベーション推進機構 学術講演会 「サル化する人間社会」のお知らせ（5月11日開催）（再掲）

学術的に著名な識者を弘前大学に招き、学術講演会を開催することで、学内教職員の研鑽意識を高めるとともに、学生にレベルの高い学習機会提供すること、また、学外へも広く周知し、地域還元することを目的として下記のとおり弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会を開催します。

本講演会では、京都大学 第26代総長 山極壽一氏をお招きして御講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成29年5月11日（木）15:30～17:00

会 場：弘前大学創立50周年記念会館
みちのくホール（先着300名）



講師：京都大学 第26代総長 山極 壽一 氏

演題：「サル化する人間社会」

詳細：弘前大学 研究・イノベーション推進機構ホームページ

申込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上、
下記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】

弘前大学 研究・イノベーション推進機構

TEL：0172-39-3907

E-mail：kensui@hirosaki-u.ac.jp

HP：http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/

**2017年弘前大学白神研究会春の観察会
春の白神散策～春植物・スプリングエフェメラルをみにいこう～(再掲)**

- ▽と き 平成29年5月13日(土) 午前10時～午後2時(雨天決行)
- ▽コース 西目屋村川原平 弘前大学白神自然環境研究所附属白神自然観察園
- ▽集合 ビーチ西目屋駐車場
(車のない方はお申し出下さい。9時弘前大学正門集合です)
- ▽参加人数 20名
- ▽対象 小学4年生以上(小中学生は保護者同伴)
- ▽服装・装備 服装はハイキング用で十分です。手袋、帽子があるといいです。雨具は必ずお持ち下さい。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。履き物は、トレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴がいいでしょう。虫除け、かゆみ止めをお持ち下さい。お弁当、飲み物も。
- ▽参加費用 1人1000円(テキスト・傷害保険代金)
*白神研究会会員の方は500円
- ▽主催 弘前大学白神研究会
- ▽問い合わせ 弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局：本多 Tel/Fax 0172-39-3812
E-mail：honda@hirosaki-u.ac.jp
- ▽申込 弘前大学白神自然環境研究所：山岸 Tel/Fax 0172-39-3706
E-mail：hyama@hirosaki-u.ac.jp
- ▽締切日 最終申込日は平成29年5月10日(水)ですが、定員になり次第締め切ります。



学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

持田睦・横地徳広 編著

『戦うことに意味はあるのか——倫理的横断への試み——』
(四六判, 382頁, 定価3,024円税込)を刊行しました。

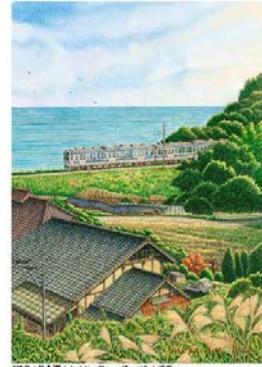
～紹介文～

われわれがこうして生まれたのは偶さかのことである。そのわれわれが、なぜか、この世界で自分と戦い、他人と戦い、あるいは超越者とさえ戦う。これらの戦いなしに、われわれは偶さかの生を祝うことはできないのか？ 戦いからは逃れえないのか……。

本書でとりあげた哲学者や作家、作品からの問いである。読者のみなさんが、各章の執筆者たちとともに、それらの問いをみずから吟味してくれたとすれば、執筆者一同、これ以上の喜びはない。

また この度、前作「生きることに責任はあるのか——現象学的倫理学への試み——」が増刷となりました。いずれも、大学生協、または市内各書店にてお買い求めいただけます。

戦うことに意味はあるのか
倫理的価値への試み



持田 隆
橋本 徳広
編著

弘前大学出版会

「2017年度国立大学紹介冊子（英語版）“Japanese National Universities 2017”について

この度、「2017年度国立大学紹介冊子（英語版）“Japanese National Universities 2017”」が完成しましたので、以下のとおりお知らせいたします。ぜひご覧ください。

○PDF版のHP掲載について

本冊子（PDF版）を国立大学協会HPに掲載しましたので、以下のURLより御参照ください。

◆ 2017年度国立大学紹介冊子（英語版）“Japanese National Universities 2017” [PDF版]
http://www.janu.jp/eng/publications/files/japanese_national_universities2017.pdf

◆ 【参考】 一般社団法人国立大学協会概要'17（会員名簿） [PDF版]
http://www.janu.jp/report/files/members_2017.pdf

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第43号」では、「特集 寄付と国立大学」において、本学・弘前市・弘前商工会議所の三者で設立した「学都ひろさき未来基金」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）「国立大学第43号」

<http://www.janu.jp/report/koho/43gou.html>

最新号「国立大学第44号」

<http://www.janu.jp/report/koho/44gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029